

地球環境高等学校 通信教育実施計画

科目名 (単位数)	音楽 I (2 単位)		担当者名	土屋 里依子		
対象年次	期別	必要面接時数	レポート数			
1 学年	通年	8 - 10	6			
科目の概要	さまざまな曲を歌唱することで、曲種に応じての発声や工夫、また歌詞や曲想を把握して表現の工夫ができるようにする。日本音楽史、西洋音楽史を学習することで、音楽と社会の関わりを理解する					
科目の目標	【知識・技能】感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。					
	【思考・判断・表現】歌詞及び曲想の把握と表現の工夫ができるようになる					
	【主体的に学習に取り組む態度】歌唱や鑑賞などの活動を通して、音楽を愛好する心情を育てる。					
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回		レポート回	試験範囲
			通常型	週3日型		
	日本の楽曲・音楽史	音楽史を学習することで、音楽と社会の関わりを理解する	1	1	1	前期
	西洋の楽曲・日本音楽史	音楽史を学習することで、音楽と社会の関わりを理解する	1	2	1	
	日本の物語と音楽・音楽史	音楽史を学習することで、音楽と社会の関わりを理解する	2	2	1	
	西洋の物語と音楽・音楽史	音楽史を学習することで、音楽と社会の関わりを理解する	2	2	1	後期
	ポピュラー音楽・西洋音楽史	音楽史を学習することで、音楽と社会の関わりを理解する	1	2	1	
まとめ	歌詞や曲想を把握して表現の工夫ができるようにする	1	1	1		
評価方法	成績評価は、レポート・スクーリング・試験によって決定する。 ○レポート：全6回。教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 ○スクーリング：年間計画に従い、スクーリング・実技を実施する。 ○試験の得点：レポート7割、スクーリング3割で出題をする。20点未満は追試。					
単位の取得	① レポート：締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ② スクーリング：年間8時間出席すること。 ③ 試験：前期試験、後期試験を受け、合格をすること。					
使用教科書等	教科書：音楽 I Tutti + 学習書：					
学習上の留意点	スクーリングの進行に合わせて復習をし、レポートに取り組みましょう。					